

11 月保育目標

<年少>

ねらい	ビーズや木片などを自由につなげたり、組み合わせたりしながら造形遊びを楽しむ。
健康	鼻水のかみ方、くしゃみをする時に気を付ける事等、イラストやお話を交えながら身に着けていく。
人間関係	色々な素材に触れる中で、思ったこと、感じたことを保育者や友だちに話したり、共感したりする。
環境	物を丁寧に使ったり、おもちゃや制作道具の扱い方を知り、大切にする。
言葉	スマートキッズや絵本を通してひらがなに興味をもち、文字の形や色の名前を覚える。
表現	自分のイメージを制作や絵画で表現したり、素材を通して見立て遊びをする。

<年中>

ねらい	活動の中でイメージを描き、見通しを持って行動する。
健康	流行りの感染症についてイラストやお話を通して学び、咳やくしゃみをする時は手で覆い、予防する事を身に付ける。
人間関係	作品展のテーマ（お店屋さん）について、お友だちの意見を聞いたり話し合いイメージを広げていく。
環境	普段とは違った素材（布・スチロール・ボンド等）を使う中で、のりやはさみ等を使って制作に取り組もうとする。
言葉	自分の要求や気持ち、感じたことを友だちや保育者に伝える。
表現	音楽のイメージを話し合い、言葉や体を使って表現する。

<年長>

ねらい	冷たい風を感じたり、虫の声を聴いたり、旬の物を食べるなど、秋の深まりを感じて五感を育む。
健康	戸外の気温が低い日にはセーターを着用し、暑くなれば脱ぐ等を自ら考えて行う。
人間関係	友だちと力を合わせたり、役割を分担したりして、ルールのある遊びを楽しむ。 例：ドッチボール・大縄跳び等
環境	紅葉や落ち葉の様子など身近な自然に触れ、見たり調べたりして秋から冬への季節の変化に気付く。 例：図鑑を持って探索…「茶色の葉はパリパリしている様子に気付き、共感する。
言葉	休みの日の出来事を自分の言葉で友だちや保育者に文章にして伝える。 例：毎週月曜日にグループごとに発表、隣の子同士で話す等
表現	作品作りを通し、素材の性質を知り、テーマにそって廃材や画用紙などを構成する中で、創造力や表現力を培う。

<コアラ>

ねらい

芋ほりを経験し、さつまいもがどんな姿で埋まっているのかを知り、食べ物 の 成り立ちに興味を持つ。

健康

給食室を見学しながら、日々の給食を作ってくださる人が居ることに気付 き、感謝するとともに、食材に興味を持ち、食べ物 の 大切さを知る。

人間関係

「だるまさんがころんだ」「とおりゃんせ」「じゃんけん列車」等の伝承遊びを通して、集団で遊ぶ楽しさを知る。

環境

自然の移り変わりに気付 き、秋の自然（虫や落ち葉・木の実）に関心を持って集めたり、おままごと等の遊びに取り入れたりしながら親しむ。

言葉

「ありがとう」「ごめんね」等の言葉の意味や大切さを知り、自分の気持ちを表現しながらも、お友だちの気持ちも受け入れていけるようにする。

表現

活動の中で、内面の感情や気持ちを形にしながら情緒を安定させていく。

<つぼみ 1>

ねらい

友だちや保育者と秋の自然に触れ、探索活動を楽しむ。

作品展の作品作りを通して、完成の喜びを感じる。

健康

尿意の有無を知らせ、トイレで排泄が出来るようになる。

衣服や靴の脱ぎ着を一人で行うとする。

人間関係

自分の作品を見てもらってほめてもらう喜びを感じたり、友だちの作品に興味をもつて見る。

環境

園庭の落ち葉を集めたり、手に取って色や形の違いを楽しむ。

言葉

「これな～に？」と聞いたり、保育者に聞かれて考えることを繰り返しながら物の名前を覚えていく。

表現

ひも通しや輪ゴムはめなどの指先を使った作品作りを楽しむ。

<つぼみ 2>

ねらい

戸外遊びや遠足を通して、秋の自然に関心を深め存分に楽しむ。

健康

ガラガラうがいや丁寧な手洗いの仕方、鼻水が出たらかむことの大切さがわかり、自分で行うとする。

人間関係

フルーツバスケットやしっぽとりゲーム等ルールのある遊びで友だちと遊ぶ楽しさを味わう。

環境

芋堀り遠足を機会に、絵本や図鑑を見たり、実際のさつまいもを触って興味を持つ自分の気持ちを表現しながらも相手の気持ちを聞いたり、受け入れながら会話を楽しむ。

表現

虫の声や風の音に耳をすまし、空気の冷たさを感じて興味を持ち、真似をしたり、同じ音を出そうとしたりする。